

事業名	精神障害者社会復帰対策費			調査番号	29
細事業名	精神障害者地域生活支援事業費	財務コード	091804		
担当部課室	福祉保健 部	障害福祉 課	心の健康 担当 (内線)	3225	

事業の概要

実施期間	始期 H8 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 精神科病院入院患者	その対象をどのような状態にして 社会参加意欲が向上している	結果、何に結びつけるのか 精神科病院入院患者の社会参加の促進
	地域住民	精神障害者と交流する	精神障害者に対する偏見・差別の解消
内容	事業概要 民間精神科病院(9病院)において入院患者と地域住民との交流事業を実施 ・委託先:山梨県精神科病院協会 ・レクリエーション活動 ・芸術文化活動		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	交流事業開催回数	目標	14	14	14	14	14	14
		実績(見込)	28	26	24	19	22	14
		達成率	200.0	185.7	171.4	135.7	157.1	100.0
		達成区分	a	a	a	a	a	b
成果指標	交流事業参加者数	目標	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
		実績(見込)	5,668	5,404	5,493	5,061	5,000	5,000
		達成率	113.3	108.0	109.8	101.2	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		1,898	1,630	1,847	1,458	1,458	1,313	1,313

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	a	評価	9病院すべてで交流事業を実施しており、概ね予定どりの参加者数となっている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	継続的に交流事業を実施することで精神科病院に入院している患者の社会参加意欲の向上が図れるとともに地域住民の精神障害者に対する偏見・差別の解消が図れる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(実施内容は実質各病院が実情に応じて企画しており、手続きや実施体制等に見直す余地がな
その他	説明	概ね予定どりの参加者数があり、精神科病院入院患者の社会参加促進及び地域住民の精神障害者に対する偏見・差別の解消を更に図るために継続して交流事業を実施する必要がある。
見直しの必要性	無	精神科病院入院患者の地域移行を図る上で、入院患者の社会参加意欲の向上と地域住民の精神障害者に対する差別の解消は必要不可欠であり、更に地域移行を推進するため引き続き交流事業を実施していく。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。